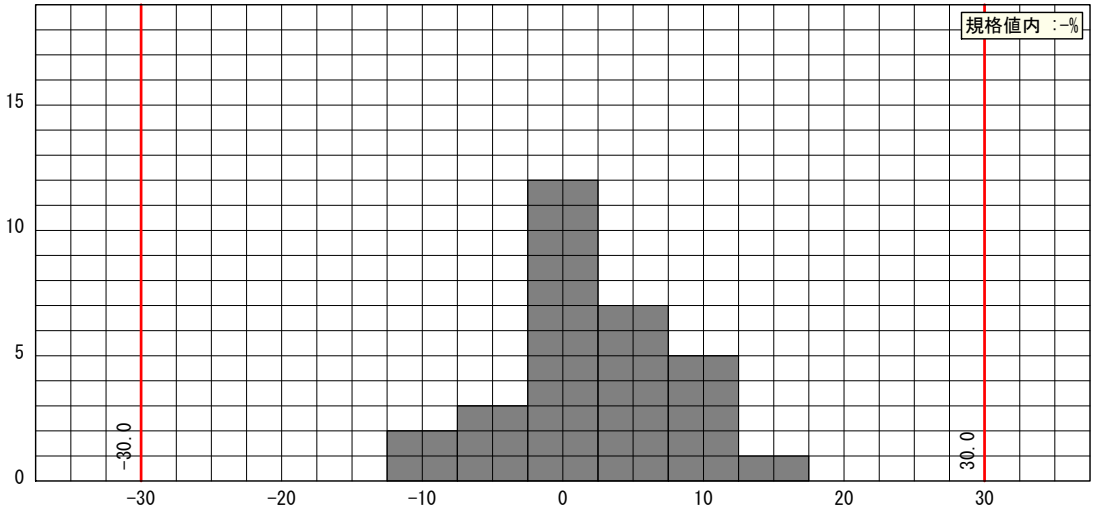
度　　数　　表

設計基準値		工事名		国道8号舗装修繕工事	事務所名		福井国道工事事務所
名称		日標準作業量			測定期間	自	
品質特性		規格限界	最大			至	
測定単位			最小		請負者		FC建設株式会社
測定方法		試料	大きさ		現場代理人		現場一郎　印
作業機械名			間隔		測定者名		測定一郎　印



ヒストグラムによる規格値に対する「ゆとり」の検討

規格:$\dfrac{|Su又はSL-\bar{x}|}{\sqrt{V}}$

「ゆとり」の検討表

管理限界の対象番号	規格 下限値 SL	規格 上限値 Su	$\bar{x}$	$\sqrt{V}$	Su 又は -$\bar{x}$ SL	|Su-SL|	ゆとり $\dfrac{\|SL-\bar{x}\|}{\sqrt{V}}$	ゆとり $\dfrac{\|Su-\bar{x}\|}{\sqrt{V}}$	ゆとり $\dfrac{\|Su-SL\|}{\sqrt{V}}$	ゆとりに対する合否	変動係数 CV	処置

NO.	クラス	代表値 xi	データのわりふり	度数 fi	ui	uifi	組	x max (1)	x min (2)	(1)-(2)
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
	3.0～4.0	3.5		5						
x0 =							N =	n =	計	
C =					計		組=		$\bar{R}$	

試験値の範囲:x-Rs-Rm管理において平均値x、$\bar{x}$-R管理においてはx1、x2…
…等の各値の最大値と最小値の範囲R'=最大値x-最小値x=

C :組みわけ範囲の幅は1/10～1/5とする。C= $\dfrac{R'}{組みわけ数}$ =

x0 :表の中心に近い任意のxを選んでx0とする。x0=

$\bar{x}$: $\dfrac{\Sigma uifi}{\Sigma fi}\times C+x0=$

$\sqrt{V}$: $\dfrac{\bar{R}}{C}$ =

CV : $\dfrac{\sqrt{V}}{\bar{x}}$

［注］　規格値に対する「ゆとり」の検討において

1. 管理限界線の引き直しごとに「ゆとり」の検討を行うものとする。
2. $\bar{x}$:$\bar{x}$-R管理図において管理限界線の計算をした際のxの値、又はx=Rs-Rm管理図では管理限界線を計算した際の$\bar{x}$の値とするほかヒストグラムによって得たxの値とする。
3. Su:規格値の上限値とする。　SL:規格値の下限値とする。
4. |Su-SL|:両側規格の場合のみ、Su及びSLに対する「ゆとり」の検討と併せて行う。